

不動明王大祭

五月二十八日

五月二十八日（火）、恒例の不動明王大祭が行な

われた。善光寺の行事はいつも天気にも恵まれる。この日も、予報では午后雨となっていたが、終日雨なく、曇りがちだったがだけに、暑くもなく、落着いた法要日和だった。

十一時十五分から四十分間、「お不動様と現世利益」について佐藤俊明老師の法話があり、善光寺がゼロから出発してわずか十五年にして横浜屈指の名刹となった驚異的な発展はまさにお不動様の御利益であり、方丈様がお不動様の思召しを体して教化活動に精進された賜物である。檀信徒の皆さんも、お不動様の思召しに添った生活にはげみ、御利益を頂戴していただきたい、

と、結んだ。

ついて十二時から大般若経を勧請して、第二回の大般若転読法要がおこなわれた。導師は佐藤俊明老師で、法要開始にあたって唱えられた香語は次頁のとおりである。

法要後、方丈様から、お不動様を勧請した経偉や頂戴した利益について、尊い体験を通してのお話があり、参列者に多大の感銘を与えた。

なお、この時の法話は、特別号の「法話集」に掲載の予定です。



不動殿にて法要



お集りの檀家の方々

不動明王大祭

大般若会香語

十方無罣礙

放廣大靈光

般若威神力

万難成吉祥

恭惟、山門此日、身代不動明王大祭之会辰

茲供養六和敬之淨侶

奉轉讀六百軸之金文

覺薩埵波倫極信心

仰廣大般若功德力

所集鴻福 回向

般若十六会之一切三宝

極安樂世界等之十方三宝

十方罣礙なく

広大の靈光を放つ

般若の威神力

万難を吉祥と成す

恭しく惟れば、山門此日、身代不動明王大祭の令辰

茲に六和敬の淨侶を供養し

六百軸の金文を轉讀し奉る

薩埵波倫の極信心を覺し

広大般若の功德力を仰ぐ

集むるところの鴻福は

般若十六会の一切三宝

極安樂世界等の十方三宝

身代不動明王、日限不動明王

聖觀世音菩薩、薬師如来

甲子大黒尊天

専祈

天地清明 風雨順調 国家安寧

世界和順 万世太平

又祈

山門鎮静 火盜潜消 清衆安穩

法輪弥輪

更祈

当寺大小檀越 十方信心施主

並大般若勸請施主各々家内安全

子孫長久 諸難消滅 心願成就

諸縁如意吉祥

至禱至禱

身代不動明王、日限不動明王、

聖觀世音菩薩、薬師如来、

甲子大黒尊天に回向す

専ら祈る

天地清明 風雨順調 国家安寧

世界和順 万世太平ならんことを

また祈る

山門鎮静 火盜潜消 清衆安穩

法輪いよいよ輪せんことを

さらに祈る

当寺大小の檀越、十方信心の施主

並びに大般若勸請の施主各々家内安全

子孫長久、諸難消滅、心願成就

諸縁如意吉祥

至禱至禱